

WEIGHT tokai co.,ltd. to assist all safety policy

WEIGHT 株式会社ウエイト東海



これからの社会を より安全に。
人と荷物を守る
モノづくり企業として。

私たちウエイト東海は、『to assist all safety policy』を企業理念とし、足場や設備の設置工事のプロフェッショナルとして愛知県を中心に、製造工場の安全を守る仕事をしています。

BCP(事業継続計画)は、災害や感染症などの危機発生時に、速やかに事業を再開させるために、事前に立てておく計画の事です。BCPを日常において、準備し訓練しておくことをBCM(事業継続マネジメント)といいます。

企業は、常日頃からいざという時に必要となるモノや情報を管理しておき、決められた手段・方法が実際に機能するかどうか確認しておかなければなりません。

重要なのは、危険を予知することと、それに備え行動することです。

私たちウエイト東海は、人と荷物を守る活動を推進していきます。

S・G・B事業

足場関連事業

機械器具設置工事業

人と荷物を守る画期的なシステム「S・G・B(Safety Gate Box)」 フォークリフト専用積荷落下防止装置

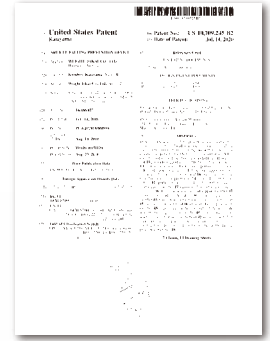
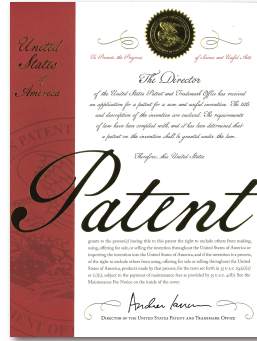


“人と荷物を守る”ための防災、減災対策をすることで、安全性を最優先にする社会の実現に向けて努力し続けます。

“人と荷物を守りたい”という思いからS・G・B(Safety Gate Box)が生まれました。

S・G・Bはフォークリフト専用の積荷落下防止ゲート付きラックです。導入することで様々な効果が見込めます。

HPも
ご覧ください



機 械 名	S・G・B
質 量	280kg
保 証 期 間	1 年

WEIGHT tokai co., ltd.
<https://www.weight.co.jp>

S・G・B® は完全受注生産で、サイズ設計自由(予算は応相談)です。

※サイズ設計変更は別途料金がかかります

組織の事業継続能力を高める定義(安全・安心・信頼)

ISO22301:2012

STEP1 B C P Business continuity planning

事業の業務の中断・阻害に対応し、事業を復旧し、再開し、あらかじめ定められたレベルに回復するように組織を導く計画

STEP2 B C M Business Continuity Management

企業がビジネスコンティニュイティ(BC)に取り組むうえで、事業継続計画の策定から、その導入・運用・見直しという継続的改善を含む、包括的・統合的な事業継続のためのマネジメントのことです。

STEP3 B C M S Business Continuity Management System

マネジメントシステム全体の中で、事業継続の確立、導入、運用、監視、レビュー、維持及び改善を担う部分

S・G・Bを導入するメリット

安全対策

倉庫内では、積荷の転落による事故が絶えません。作業員の安全を確保し、積荷を転落による破損から守ることは非常に重要です。S・G・Bはラック本体に転落防止用の可動パネルが付属している為、ラックを設置するだけで安全対策が可能になります。

震災対策

震災時、多くの積荷による二次災害が起こりました。積荷が直接作業員にぶつかったり、落下した荷物により避難経路が確保できず、逃げ遅れる場合もあります。いつくるかわからないものの、やってくる可能性の高い大震災に備え、震災対策が必要です。

作業効率

フォークリフトでの作業効率を考えた設計になっており、両側や背面のラックにあたらないよう、サイドパネル・リアパネルを設置、底板は仮置きが可能です。ゲートの開閉はソフトクローズ仕様になっているため、衝撃や音は非常に軽減されています。

電源不要

S・G・Bはテコの原理を利用して可動するため、電源は必要ありません。積荷を置くとゲートが閉まり、積荷を上げると、ゲートが開きます。電源不要なため、設置場所を選びませんし、停電時も可動します。安全対策・震災対策には最適です。

企業価値を高める安全対策のために、
防災・減災・安全・事業継続計画などの対策に協力させて下さい！

安全対策

日本は地震の多い国。しかし、倉庫内での安全確保、震災対策は現状不十分ではないでしょうか。

予算がない

でも今まで事故は起きてない

でも、実際に事故が起きてしまったら・・・

＼もっと多額の賠償金等が請求されてしまう！

倉庫内で積荷が崩れたら・・・

荷物が損傷する可能性

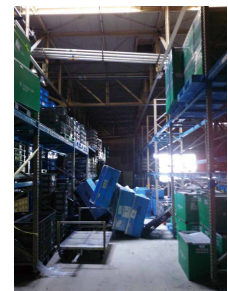
人が怪我をする可能性

安全配慮義務違反

売る(届ける)はずだった商品が壊れてしまった

積荷の下にいた従業員が怪我をしてしまった

安全配慮義務違反で損害賠償を請求された



安全配慮義務違反による損害賠償の事例

事例1

クレーンを運転操作し原木をトラックに積み込んでいたところ、ワイヤーロープが解け頸部に当たり、1級障害。

判決認容額 約1億6254万円

事例2

一人で焼鈍炉のピット内に降りた後、ピット内にアルゴンガスが漏れて滞留していたため酸欠死。

判決認容額 約5200万円

災害発生による企業が負う責任



連絡網を準備してなかったため、一部従業員の所在がつかめず、人手の確保ができない。

地震で倉庫の積荷が崩れてしまい、商品が破損してしまった。

ヒト

モノ

情報

カネ

安全対策情報の共有によって、大切なものを守る。

保険に入っていないため、設備の復旧に必要な資金の目途が立たない。

安全よりも出来高は間違った考え！何より、一番に大事なものは人の命！

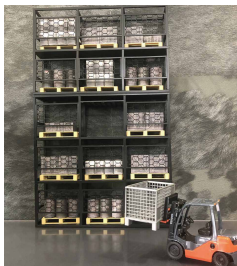
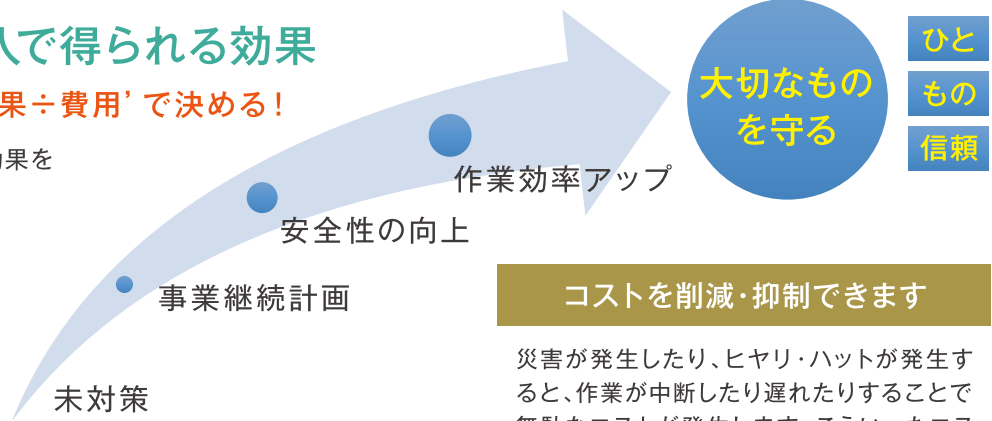
令和2年9月現在

費用対効果

S・G・Bの導入で得られる効果

'やるべきか' は '効果÷費用' で決める!

期間を区切って費用対効果を考えることが大切です。



労働者のモチベーションが向上します

良好なコミュニケーションで職場が明るくなり、労働者のやる気向上が期待できます。また、労働者の意見を活かして、作業や職場環境の改善活動を行うと、より積極的に仕事に取り組む姿勢が生まれます。

コストを削減・抑制できます

災害が発生したり、ヒヤリ・ハットが発生すると、作業が中断したり遅れたりすることで無駄なコストが発生します。こういったコストの削減・抑制することができます。

生産性が向上します

作業環境の改善や整備により、段取り作業が短縮できたり、工具を探す手間がなくなって、作業の効率化、生産性の向上が期待できます。

BCP対策をするメリット

BCPとは、事業継続計画。自然災害や感染症などが発生しても事業を中断させない、または可能な限り早く復旧させるための方針。

事業継続力強化計画の認定

支援策(優遇制度)を活用できる!

「事業継続力強化計画」の認定制度とは中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。認定を受けた中小企業は、税制優遇や金融支援、補助金の加点などの支援策が受けられます。

HP: <https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.htm>

事業継続力強化計画認定企業への支援策

- 日本政策金融公庫による低利融資
- 補助金の優遇措置
- 信用保証枠の追加
- 認定ロゴマークの使用
- 防災・減災設備への税制優遇
- 本制度と連携いただける企業・団体からの支援

中小企業防災・減災投資促進税制

対象設備の取得価額の特別償却(20%)を受けられる

対象設備		
	機械装置(100万円以上)	自家発電機、発電ポンプなど
	器具・備品(30万円以上)	制震・免震ラック、衛星電話など
	建物附属設備(60万円以上)	止水板、防災シャッター、排煙設備など

令和2年9月現在

弊社では販売・製造代理店
ライセンスシーパートナーを募集しております。

工場・倉庫や小売店では荷物を高積みにして保管がしてあります。積み上げたパレット自体が倒れてきた場合の事を考え、この後に問われる労働災害事故、安全配慮義務、企業様の受ける損害を考えた対策、リスクアセスメントを推進していきたいと思っています。

このS・G・B(Safety Gate Box)を事業展開していき世界中の工場・倉庫から荷崩れや高積みで起きる事故を無くしていきたいと考えています。人と荷物を守るために販売・製造代理店(ライセンスシー)の契約を結んでいただけるパートナーを募集しております。業種・分野は問いません。



WEIGHT tokai co.,ltd. to assist all safety policy

WEIGHT 株式会社ウエイト東海

〒475-0961 愛知県半田市岩滑中町 4-130-1 TEL: 0569-32-2530 FAX: 0569-32-2531
E-mail office@weight.co.jp HP <https://www.weight.co.jp>